

車でのレジャーを、もっと便利に、快適に

ネクスのGXシリーズ(GX410NC/GX420NC)が、ドライブシーンを豊かにする。

位置情報や行程、速度や機器の作動状況。車での旅やレジャーの際に走行した記録は、さまざまな活用の可能性を秘めている。そんなデータの取得と解析に役立つツールが、ネクスの「OBDⅡソリューション」だ。GXシリーズを車両に装着して、連携するアプリをダウンロードすれば、これら運転にまつわる基本データ10種類、最大38種類のデータを取得することが可能となる。

例えば、スピードや加速度などのデータは、運転方法の診断の参照に。エンジンやバッテリーの状態といった機器のデータは、故障の予知に役立つ。さらにドライブのGPSログや立ち寄りスポットの位置情報は、現地では同行する仲間の車との連携に、そして旅のあとには大切な思い出の記録にもなる。

対応車種は1200型式と幅広く、数分で簡単に取り付けられる。車でのレジャーをよりいっそう盛り上げ、そして安全をしっかり見守ってくれる。「OBDⅡソリューション」を活用して、一歩先のドライブシーンを描いてみよう。

GXシリーズならできる、こんなこと

- 車のメンテナンスを、より簡単に行いたい
- もっと効率よく、燃費をよくする運転を身につけたい
- システムを活用して楽しい車の旅をしたい
- ドライブの旅の記録をとっておきたい

GXシリーズとドライブへ出かけよう

1 出発前に

メンテナンスを オンライン管理!

ドライブに出かける前には、車の状態を把握しておきたいもの。GXシリーズは日頃の運転データをもとに車の状態を把握でき、故障や事故を未然に防いでくれます。いざドライブに出かけようとしたらバッテリーがあがっていた、というトラブルも防げます。



2 快適な 運転に

エコドライブの ための先生に!

長距離の運転には、リラックスしたスタイルと、低燃費の維持が肝心。GXシリーズはエンジンデータと速度、ハンドル操作などのデータから、運転のスタイルを診断。それをもとにガソリン代の削減、ストレスのない運転方法といった、エコドライブのためのヒントを提案します。



3 仲間との 旅に

はぐれないための ナビゲーター!

グループでのドライブの際には、車同士が離れてしまったり、時にははぐれてしまうアクシデントがつきもの。そんな際に役立つのが、GXシリーズのGPS機能。運転中の仲間のクルマの位置が把握でき、どれくらい離れているのが常に分かります。車から降りて離れても停車位置がつかめるため、駐車場で停めた場所で迷うこともありません。



4 ドライブ 後に

旅の思い出を バッチリ記録!

ルートや立ち寄りスポットに写真も追加することもできるので、旅の思い出マップとしてテーマごとに振り分けた旅の記録を残せます。アプリによる仲間との共有や、SNSへの投稿もできます。



GXシリーズで取得できる 基本データ10種類

- 瞬間燃費
- 燃料噴射
- 車速
- エンジン回転数
- エンジン冷却水温
- 積算距離
- 積算燃料
- バッテリー電圧
- 加速度
- GPS



事業者のサービスにも用いられるGXシリーズの多彩な活用例

送迎バスロケーションサービス バスのり

路線バスの

ロケーションシステムを

低価格で提供

OBDⅡの活用例では、ドライバーの危険運転を見える化したサービスとして、運転業務の管理者や指導者が適切な指導を行い、顧客に安全なサービスを提供できる「Drive Care」（次のページを参照）がサービス開始されている。この知見や技術を応用したロケーションサービスが、バスの運行情報を提供するアプリ「バスのり」だ。

路線バスでは普及しているバスロケーションシステムだが、幼稚園や自動車学校などの送迎バス、地方自治体が運営するコミュニティバスでは、コスト面などから導入が難しい状況にある。遅延や運休といった情報が、利用者に届きづらいという問題を解決するために、それら必要な機能を低価格で提供。さらに業務効率向上、運用コスト低減、トラブル防止、集客促進が可能となるのが、このサービス導入のメリットといえる。

加えて、ドライバーへの安全運転の意識向上、指導事故の未然防止・削減に役立つ管理者向け機能も提供される予定だ。

送迎バス

ロケーションサービス

「バスのり」の特徴

大きな特徴は、幼稚園の保護者や自動車学校の生徒など、送迎バス利用者のスマホより、簡単な操作で扱えること。乗りたいバス停をタップする簡単な操作で、バスの接近情報をプッシュ通知でお知らせすることもでき、送迎バスが通り過ぎてしまったかも？という不安やストレスから開放。電話やメールによる事業者への問い合わせ対応も減り、運用コストの低減が期待できる。

また送迎バスのドライバー向けスマホアプリには、停車バス停が発券予定時刻とともに自動で表示されるため、誤って予定より早く出発してしまうことを防止できるなど、運行管理上のメリットも。バス利用者とのトラブル防止や、随時変更されるバス停出発時刻の記憶・確認の助けにもなる。

管理者機能では、悪天候での突発運休などを利用者へ伝えるお知らせ通知、すべてのバス位置や運行状況を一目で把握できる全車両表示などを備えており、利用者への迅速で細やかな配慮、臨機応変な運行管理が可能だ。



事業者のサービスにも活用される GXシリーズ

事故につながりやすい
ポイントを解析

ヒヤリハットマップ作成

GXシリーズで取得した情報から、事故につながりやすい「ヒヤリハット」ポイントを解析。幼稚園・保育園の付近や通学路、高齢者施設付近の交通の安全状況の把握に役立つ、「スピード出し過ぎ注意エリア」、「周囲状況注意エリア」などが提供できます。

例えば



スピード注意エリア

GPSによる位置情報と車速情報を取得することにより、スピードの出し過ぎ注意エリアを提示することが可能。

周囲状況注意エリア

GPSによる位置情報と加速度情報を取得することにより、急ブレーキの頻度が高い場所など、周囲状況に注意して運転すべきエリアを提示する。

送迎車用 安全運転支援サービス Drive Care

GXシリーズで取得できる情報をもとにした、危険運転削減のためのサービス。急ブレーキ、急ハンドルや急発進などの危険運転データを可視化して、適切な指導に役立ちます。ドライバーの安全運転の意識向上、事故の未然防止・削減を目的とするほか、燃費の向上や消耗品の耐久性向上といったコスト面でのメリットも生まれます。

車両管理サービス

OBDIIはデジタコ、運行管理と同様のサービスを低価格で提供できる機器として、多くのサービスプロバイダ様に採用されています。営業車、社用車の運行管理の主な機能

位置情報

車両の見える化で最寄りの車に即座に指示を出すことができます。

運行日報

自動作成によってドライバーの負荷が軽減できることで業務の効率化につながります。

運行実績

余剰車両の精査や車両保有台数の適正化が容易になり、コスト削減につながります。

運転診断

運転特性を分析した改善方法を提供できるので事故低減につながります。など

主なサービスプロバイダ様

- ・株式会社ネクス・ソリューションズ
(バスのり、ヒヤリハットマップ作成)
- ・株式会社ケア・ダイナミクス (Drive Care)
- ・株式会社システック (ロジこんぱすLite)

GXシリーズ(GX410NC/GX420NC)の問い合わせは

株式会社ネクス

<https://www.ncxx.co.jp/obd2/>

利用者にも、管理者にも役立つ 「バスのり」の主な機能

利用者にとって
便利!



路線情報

運行状況表示機能

- 地図表示、バス停ルート表示上での現在位置をリアルタイムで表示
- 遅れ情報(分)の表示
- 既通過、未通過をバス停アイコンの色で表示



地図表示

お知らせ機能

- 渋滞による運行遅延や天候不良による運行中止など事業者より利用者へ配信可能

プッシュ通知

- 利用者が乗りたいバス停を選択する事で、バスの接近情報をスマホへお知らせ



プッシュ通知

その他機能

- 乗車バス停の登録
- 周辺の最寄りバス停の表示
- 指定したバス停までのルート検索
- 指定したバス停で乗車希望登録

ドライバーも
ラクラク運行!



ドライバー向け

運行支援機能

- バス停と出発予定時刻、遅れの有無を表示
- 各バス停での乗車希望人数の表示

管理者にとっても
役立つ!

運行管理機能

- 全てのバスの現在位置、遅れ時間、バス停を地図上に表示
- お知らせ情報配信



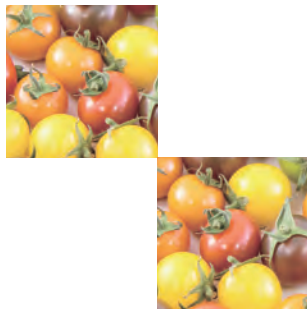
管理者向け

NCXXの考える「農業」とは？

高齢化・後継者不足…
解決されない多くの課題

近年の日本の農業の大きな問題点に、農業従事者の減少とその高齢化が挙げられる。農林水産省の統計をひもとしてみると、平成22年には650万人いた農家人口が、平成27年には488万人まで減少。しかしながら農家人口に占める65歳以上の割合は38.6%と高く、高齢化の歯止めもかからない状況となっている。

その一因として、農業経営における経済的な事情が大きく影響している。一般的に「農業事業は薄利」といわれており、多くの農家では自身の労働に対する対価を度外視することで、採算がたもたれている現状がある。労働力を雇用からでなく家族内へ依存したり、高齢者に至っては年金収入に頼りながら、農業事業を継続をしているケースも少なくない。そのような状態では新規参入者・後継者が育つこともなく、農業人口の減少や農家の高齢化、ひいては日本の農業の存亡にも関わる問題にも繋がりがかねない。

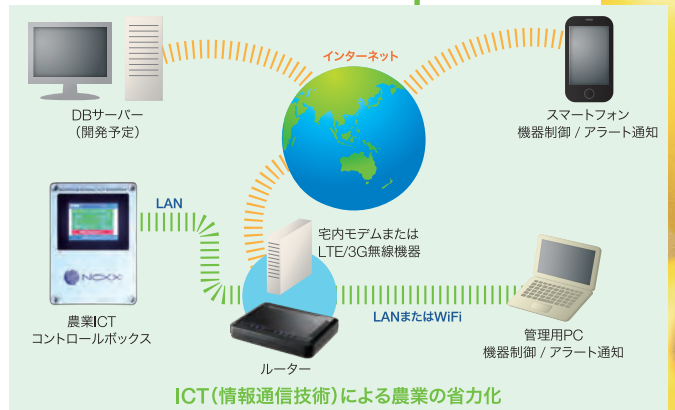


項目	値	項目	値	項目	値
2014年	552	83%	303	未接続	86%
5%					



テクノロジーで変える日本の農業

そうした日本の農業事情を改善する力を握るのが、NCXXファームが取り組んでいる「農業ICT」である。特許技術である多段階ポットによる化学的土壌マネジメントと、NCXXの先端通信技術を活用し、野菜の生育を科学的に管理することで、年齢や経験を問わず「誰もが健康な野菜を簡単に育てられる仕組み」を提供。労働力の抑制、作業の簡素化、そして経営状態の向上…。農業の現場が抱える諸問題を解決する可能性を、このシステムは秘めているといえる。



さらにこのシステムのメリットは、収益性の改善にもつながること。ロスの少ない安定した収穫が見込めるため、家族で農業を営む農家が、自分たちが働いた分の給与収入と、農業事業としての利益を享受できる。いわば「儲かる農業」を実現させ、後継者が育つ環境も整備されるのにつながることも期待される。農業従業者の増加はいままでもなく、地域の農業を活性化させることで雇用の促進、地域での加工・流通・小売りなどのバリューチェーンの活性化といった、農業を軸とした地域振興までも実現できる。

「テクノロジーで日本の農業全体を変えていく」。これがNCXXファームが考える、農業のビジョンなのだ。

畑を必要としない農業へ

化学的土壌マネジメント

作物ごとに、必要な栄養を最適なバランスで配合した用土が入ったポットによる栽培が、ネクスファームの栽培法の大きな特徴である。窒素、リン酸、カリおよび、各種ミネラルが適正に配合された独自の機能性用土を使用。1段目は窒素濃度を低くした「成長初期に必要な栄養素を含んだ用土」、2段目は「花や実をつけるのに重要な成分を最適に配合した用土」と、成長段階により使い分けた適正な肥料設計を行っている。

畑を用いず必要最小限の土や肥料を使用するため、作付予定地の土壌成分を気にする必要がない、連作障害や危険な土壌殺菌剤利用の心配がない、難しい追肥作業を行う必要がないなど、耕作も草取りも不要で



作物ごとに必要な栄養を最適なバランスで配合した用土が入ったポット。

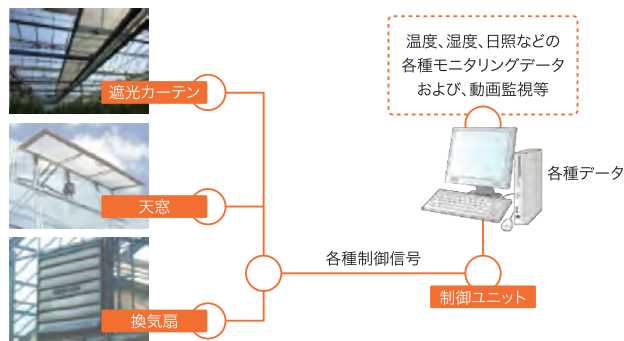
1段目は成長に必要な成分。2段目は花や実をつけるのに重要な成分を最適に配合した用土を入れたポット。

水やりだけで初心者でも簡単に栽培できる環境を実現。一鉢あたりの定植数の増加が可能のため、単位面積当たりの定植量・収穫量を増やすことも可能だ。さらに適切な肥料管理のおかげで、硝酸態窒素濃度が低い安かつおいしい野菜の収穫も期待できる。

IoTによる環境管理

ネクスファームの栽培法のもう一つの特徴が、IoTを用いた環境管理だ。通信技術をもとにして、制御機器ならびに制御ソフトウェアを開発。ハウス内の各種設備を自動で制御し、温度や湿度、日照、動画監視など各種要因をセンシング・モニタリングして、最適にコントロールする。これにより、野菜本来の味を引き出した作物の生産を実現。環境制御により、味がよく糖度の高い収穫物を、季節的変動もなくオールシーズン、安定した品質で供給できるメリットがある。

さらに、これらを用いてデータベースを構築、栽培に関わる各種データを蓄積分析することで、自動化による効率化だけでなく、収穫改善へと役立てることも可能だ。



ネクスファームのITトマトとは?

ITトマトとは、通信機メーカーが作ったITシステムと特許農法の組み合わせによって、最適な栄養バランスを元に育った、高糖度で高品質な味わい深いミニトマト。糖度8以上を基準とし、以下の品種のラインナップのほか、さまざまな加工品が用意されています。

<赤色>サンチェリースマイル、

サンチェリーピュア

<黄色>イエローミミ、

イエローキャロル、TSX-112

<橙色>オレンジ千果、オレンジパルチェ、

オレンジキャロル、サンオレンジ

<緑色>サングリーン

<紫色>トスカーナバイオレットCF



スポーツに、レジャーにトマトの栄養価が役立つ

トマトに含まれる栄養素「リコピン」「ベータカロテン」は、活性酸素を除去する作用から、美容やダイエット、アンチエイジング、生活習慣病などに効能があるとされています。体内で作り出すことができず、一度に大量に摂取しても蓄えておくことができないため、毎日継続して取り続けることが大切。トマトからのほか、ネクスファームのトマトジュースをコップ一杯飲むだけで、トマト25個分のリコピン・ベータカロテンを取り込むことができます。

これらはスポーツやアウトドアの場面では、日焼けの防止やダイエットなどにも効果があります。ネクスファームのトマトとトマトジュースは、レジャーの場でも活躍するはずでしょう。

※ICTとは
Information and Communication Technology
(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)
の略語

商品および農業ITC事業の問い合わせは
株式会社ネクスグループ
<http://farm.ncxx.co.jp/about.php>

この両システムのパッケージ販売を行う、フランチャイズ事業も展開中

品質の向上と安全・安定へ
ネクスファームの取り組み



宮沢賢治の故郷・花巻で育った 農業ICT事業、ネクスファームによる 「黄いろのトマト」。

宮沢賢治の作品集『新編 銀河鉄道の夜』の中に、『黄いろのトマト』という短編が収録されている。二人暮らしの兄妹が畑に植えてたトマトが、黄金色の実をつける。二人は喜んで大切にしていたのだが、ある日見世物のテントの中に入りたく、黄金を払う大人たちに倣い、黄金のトマトを番人に渡そうとしたものの、投げ返され追い立てられてしまう。兄妹にとっては、このトマトはいわば黄金そのものの価値があった、と物語っているようだ。

岩手県花巻市にある「ネクスファーム」では、この童話をモチーフにした黄色のミニトマトをはじめとした、トマトの生産に力を入れている。注目はその生産方法で、特許技術である多段式ポットによる化学的土壌マネジメントと、ICTによる環境管理で「誰もが健康的な野菜を簡単に育てられる仕組み」を作り出した。糖度と栄養価が高く、安定した生産量が見込め、かつ体に安全な生産物を供給するプラットフォームとなっている。

ちなみに宮沢賢治は作家であるとともに、農業指導者としても花巻に貢献した。氏ゆかりの地に

て最先端の農業技術を駆使し、作品中に出てきたトマトを栽培する。ネクスファームの取り組みは、賢治の志を受け継いで、黄金に匹敵する農産物を生み出すシステムを提供していく。



ネクスファームの野菜たち



ミニトマト(赤)

品種:サンチェリー
スマイル
特徴:皮が薄く、糖度が9度以上のとても甘いミニトマトです。食卓に彩りを与えてくれる、自然がつくれた真っ赤な色が特徴です。



ミニトマト(黄)

品種:イエローミミ
特徴:糖度の高いフルーティーな食味で、鮮やかなレモンイエローのミニトマトです。



ミニトマト(オレンジ)

品種:オレンジ千果
特徴:つやがあり美しく、通常品種よりカロテン含有が豊富。高糖度で食味にすぐれています。



ミニトマト(バイオレット)

品種:トスカーナ
バイオレット
特徴:活性酸素を除去する抗酸化物質「リコピン」を、一般的なトマトと比べて25%以上も多く含んでいます。



ミニトマト(グリーン)

品種:みどりちゃん
特徴:薄緑色のまま完熟するトマトです。適度な甘さと爽やかな酸味が特徴です。

ネクスファームの野菜で作った商品いろいろ



600円



1800円

黄いろのトマトのキーマカレー

岩手県産の鶏肉と辛味の効いたスパイスに、IoTによる技術と特許農法により生まれた高品質、高糖度のフルーツトマトがごろっとまるといった、レトルトキーマカレーです。平成29年度岩手県ふるさと食品コンクール優良賞受賞商品です。また、この商品2袋に加えて宮沢賢治の童話「黄いろのトマト」をセットにし、特製桐箱に収めたギフト商品も人気です(1800円)。



720ml
2000円

黄いろのトマト100%ジュース

IoTによる技術と特許農法により生まれた、高品質・高糖度のフルーティーな「イエローミミ」と、食味のすぐれた「オレンジ千果」二種類のトマトをブレンド。720mlビンで100個以上も贅沢に使った、トマトのみ100%の無添加ジュースです。